

NEWS LETTER 62

2015
VOL. TAKE FREE

News Letter

vol.62

2015年11月30日発行



3つの研究室が出演
TOKYO DESIGN WEEK 2015

在学生 Interview!!
村田有加さん 島崎未知子さん

NEWS LETTER 編集委員おすすめ!
新宿イルミネーション SPOT

講師 Interview!
武澤啓之 講師

リレーマンガ
『私達の大学生活はまだ始まったばかり。』 第8話

HOT TOPICS

宝塚大学 東京新宿キャンパス 東京メディア芸術学部 | 大学院 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目11番1号
TEL:03-3367-3411 FAX:03-3367-6761 E-Mail:tokyo@takara-univ.ac.jp

なりたいたいわたしに近い大学。

都心のキャンパスだから
発信する場がいっぱい!

社会に
近い。



先生は第一線で活躍する
現役クリエイター

教員に
近い。



各沿線の新宿駅から
歩いてすぐ

新宿駅に
近い。



各沿線
新宿駅から
徒歩約5分!

学びの特徴

現役クリエイターによる指導のもと、領域の枠を超えて学べるカリキュラムで一人ひとりに合わせた学びを実現!

POINT 1

現場で生きる教育を実践
先生=クリエイター

POINT 2

+αの学びが力になる
選べるカリキュラム

POINT 3

きめ細やかな対応が可能
少人数制の授業

進学相談会

12/5^土
2016 1/30^土

開催時間 13:00~16:00

入試やキャンパスライフなどなど、さまざまなご質問にお答えします。
ぜひお気軽にご参加ください。



ACCESS アクセス



- JR「新宿」駅(西口)から徒歩約5分
- 都営大江戸線「新宿西口」駅から徒歩約3分
- 地下鉄丸ノ内線「新宿」駅から徒歩約4分
- 西武新宿線「西武新宿」駅から徒歩約4分
- 小田急線「新宿」駅から徒歩約5分
- 京王線「新宿」駅から徒歩約5分
- 都営新宿線「新宿」駅から徒歩約5分



INTERVIEW

PROFILE

- 篠崎千香 (左)
コンテンツデザイン領域 2年生
- 増田結衣 (右)
映像領域 2年生



今回のTOKYO DESIGN WEEK出展における 中心メンバーに話を聞きました!

TOKYO DESIGN WEEKは毎年イラストレーション領域が出展していましたが、今年のテーマが「インタラクティブ遊具」ということで、映像表現研究室、デザイン表現研究室、コミュニケーションデザイン研究室の産学共同企画で出展することになりました。

コンテンツを考えるときに、現在「町あかり」というアーティストのプロモーションをお手伝いしているのですが、そのPRもかねて、なにかおもしろいことができなにか?と考えるのがはじめてでした。

出展するのなら、とにかく新しい表現をしようと思つて、ゲーム領域の人にはアプリ制作、映像領域とコミュニケーションデザイン研究室では360度カメラをつかって映像をつくらうかと思ひました。「Oculus Rift」という、映像の最新機器(スコープ)をつかって誰もが新しい体験をできる映像です。

一番大変だったことは、360度カメラの使い方を熟知していなかったことでした。最初、スタジオで撮影していましたが、予想以上に難しくて撮影できませんでした。炎天下の日に、多摩川の河川敷で撮影し、町あかりさん、出演者の人たちに指示を出してなんとかPV映像を撮ることができました。YouTubeにアップされている動画は、スマホを使って見ると360度の角度からも映像が見れる仕組みにしました。

展示当日はブース用のパネル作成、Oculus Riftでの展示、タブレットでの展示をしました。タブレットでは「町たたき」というもぐらたたきゲームを制作しました。町あかりさん



んがもぐらのように出てきて、それを指で叩くと町あかりさんの声が出るゲームです。当日会場では人気でしたし、町あかりさん本人も会場にいらして喜んでくれました。

イベントの屋外会場では、出展大学によるプレゼンテーション大会が行われ、私たち2人も宝塚大学の出展プレゼンをさせていただきました。制作の経緯、今までの町あかりさんのPRの話、今回のインタラクティブに繋がった話をしました。120校ぐらい出展していて、結果は残念でしたが、とてもよい経験になりました。

学校内の活動もやりながらプロのアーティストのプロモーション、制作をしてプロ意識を学びました。半端なものをつくれな、一緒に作るメンバーともコミュニケーションを密にとつて制作を進めることは辛かったです。宝塚大学が得意とする分野で来年も出展できたらと思います。

TOKYO DESIGN WEEK 2015

3つの研究室が**出展**

TOKYO DESIGN WEEKって?



今年で30周年を迎えるクリエイティブの祭典、TOKYO DESIGN WEEK。デザイン・アート・ミュージック・ファッション、4つのジャンルから、企業、ブランド、デザイナー、学校がそれぞれのクリエイティブを発表。最先端のクリエイティブを体感できるイベントです。去年まではTOKYO DESIGNERS WEEKという名称で開催されていたが、TOKYO DESIGN WEEKに改名。

今回のテーマ

クリエイティブは従来の概念を超えて、より参加型、相互作用的なものへと進化してきています。その領域はメディアアートだけでなく、デザイン、建築、アート、ファッション、ミュージックなどさまざまな分野に影響を及ぼしています。今年のTOKYO DESIGN WEEKでは「インタラクティブ」をテーマに、来場者とともに新しいクリエイティブを体感する場として展開していきます。

**宝塚大学からは 映像表現研究室
デザイン表現研究室
コミュニケーションデザイン研究室
の産学共同企画で出展!!**

今年6月にメジャーデビューした、シンガーソングライター町あかりさんのメジャー初シングル「もぐらたたきのような人」(ビクターエンタテインメント VERSIONMUSIC 9月23日リリース)、その360度見渡せるVR(バーチャルリアリティ)バージョン『もぐらたたきのようなひとVR』を宝塚大学の学生が制作しました。当日はVRヘッドセット「Oculus Rift」を使用した体験と、ゲーム領域の学生たちによるスマホゲームアプリ『町たたき』も展示しました。



在學生 Interview!!

一人ひとりの「星の王子さま」が、
少しずつ見えてきた。

イラストレーション領域が毎年制作する作品集があります。
学生が主体となってデザインし、1つのテーマに沿ったイラストを描き、一冊の本にまとめる。
今年で6冊目になる作品集のテーマは「星の王子さま」。
在學生、卒業生、講師も参加する、イラストレーション領域にとっての一大制作イベント!
今回の制作に没頭したふたりから話しを聞きました。



Profile

村田有加 (左)
1993年12月27日生まれ
埼玉県狭山市 出身
2012年 東野高等学校 卒業
現在イラストレーション領域4年生
最近やりたいこと:
福岡や大阪に展示を見に行きたいです。

島崎未知子 (右)
1993年12月27日生まれ
埼玉県川越市 出身
2012年 鶴ヶ島清風高等学校 卒業
現在イラストレーション領域4年生
最近やりたいこと:
部屋を整理すること。

毎年恒例の作品集ですが、今回なぜ制作に関わろうと思ったのですか？

島崎 「毎年イラストレーション領域では、テーマを変えて作品集を制作しています。今回は北見先生が『星の王子さま』にしよう、という声掛けからテーマが決まりました。そもそもこの作品集はイラストレーション領域の目玉企画として、在學生が主体となって講師たちとつくる一大イベントです。1つのテーマについて、深く考え、絵におこしていくこと。自分の作品が一冊の本の中にあるということは、とても嬉しいことですし、就職活動でも使用するポートフォリオの役目でもあります。

制作に関わろうと思ったのは、北見先生から、デザイン制作やってみないかと声を掛けてもらったのがきっかけです。めったにない経験だと思いましたが、もともとコミュニケーションをとるのが得意な方ではないので悩みました。デザインにも興味があるけど、制作ソフトも使ったことないし不安だらけでした。でも、そのコミュニケーションの部分には右腕が居たら安心だな、ということでクラスメイトの村田さんを誘ったんです」

村田 「この本の制作に関して基本的に4年生は入らないのですが、今年から制作や編集の仕方が変わりデザイン面でも松吉先生がディレクションとして入ってくれるようになりました。私も制作に興味がありましたし、話すことや、人の前にたつて物事を進めることが割と得意でしたので一緒にやることを決めました。島崎さんの考えていることを他のメンバーや先生方に伝えること、島崎さんの翻訳家として動いていました(笑)」

1冊の本をつくることは大変だと思います。編集やデザイン、大変だったことはありますか？

島崎 「この本の制作は春先から始めて夏まで作業をしていました。今までは3年生だけで制作していましたが、デザインのディレクションがそこまで入っていませんでしたので仕上げにもバラつきがありました。今回は松吉先生が参加してくださり、プロ目線でデザインのチェックが多く入ったので、クオリティには自信があります。印刷における知識が増えましたし、デザインのいろは、デザインを通してコミュニケーションをすることを学びました」



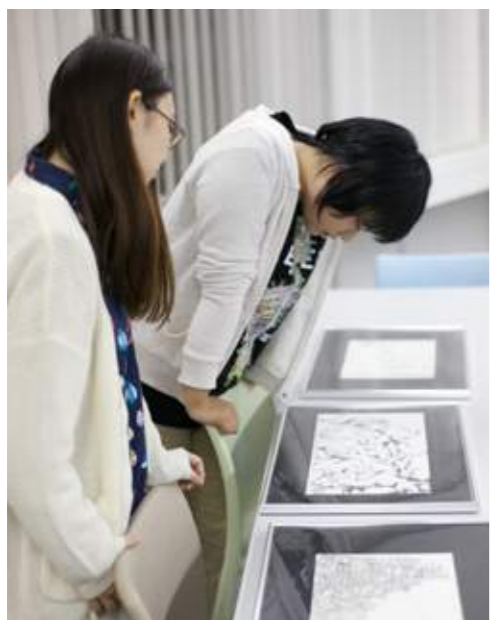
村田 「編集ということを含めて今まではできなかったこと、手取り足取り、先生方に相談しながらつくってました。一冊の本にしたときのストーリー性を考えることがとても難しかったですね。『星の王子さま』という、すでに確立された強いイメージがある中で、今の学生たちが感じて出てきた絵をどうやって表現すればよいか。島崎さんともたくさん話しました」



島崎 「全体を通してシンプルなイメージのデザインにしよう、という話合っていて途中で決めました。目次やその他のページにおける絵は、ペン画で描いたり、色も白黒で統一したりするなど、絵を挿絵として使うのではなく、装飾として活かすことでデザインが施されて見えるようにしました。あとはページ背景の色を統一したりすることで雑誌っぽく見せたり、登場人物が変わったんだな、とデザインでわかるような工夫をしました」

在學生だけの作品集ではなく、卒業生や先生方の作品も載るのはおもしろいですよね。

村田 「今回の作品集には卒業生13人が参加してくれました。こうやって絵を通して繋がっているのはとても嬉しいことだと思います。この本は学園祭で配ったり、デザインフェスタに出展したときに配ったり、オープンキャンパスでも活躍します。イラストレーション領域を表現する、最高



島崎 「絵を描くことももちろん大好きなのですが、今回デザインに関わることができて、デザインの仕事をしたいこと、という思いが、思い始めました。作家として表現するよりも、誰かの素材を、工夫して伝えることをしたい。もともとと絵をやりたくて入学しましたが、松吉先生のデザインの授業を受けて気持ちが変わっていききました。『人を喜ばせるにはどうすればいいか?』と考えることが好きだったので、今回の制作に関わって本当によかったと思っています。村田さんがいたからこそ、最後までできました。村田さん、ありがとう!」

新宿イルミネーションSPOT

NEWS LETTER 編集委員おすすめ!

もうすぐクリスマスですね!
 ということで、今月号はイルミネーション特集です。
 宝塚大学のある新宿駅の西～南側に焦点を当ててご紹介します。

新宿アイランドタワー

落ち着いた雰囲気階段を下り、タワー内に入っていくと、ライトアップされた空間があり、周りは水に囲まれていてライトの反射でキラキラしています。
 タワー入り口の「LOVE」のモニュメントもライトアップされていて、とても幻想的です。

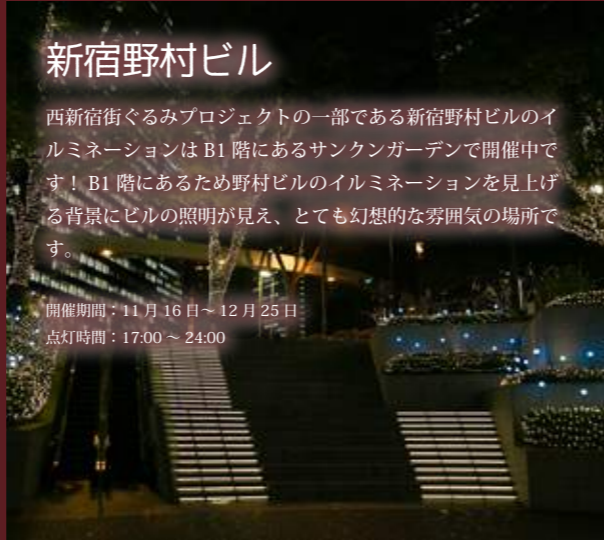
開催期間：11月16日～2016年2月14日
 点灯時間：17:00～23:00



新宿野村ビル


西新宿街ぐるみプロジェクトの一部である新宿野村ビルのイルミネーションはB1階にあるサンクンガーデンで開催中です！B1階にあるため野村ビルのイルミネーションを見上げる背景にビルの照明が見え、とても幻想的な雰囲気の場所です。

開催期間：11月16日～12月25日
 点灯時間：17:00～24:00



宝塚大学 新宿キャンパス

新宿キャンパスイルミネーション2015
 毎年恒例のキャンパスイルミネーションが今年も始まっています。1FロビーはLED電飾と照明による青の空間、2F窓外側にはLED照明による動きのある演出が行われ、設営には渡邊准教授指導のもとコンテンツデザイン領域の3年生、1年生が参加しました。新宿キャンパスイルミネーション2015は来年1月末ごろまで行われます。




モザイク通り

「マカロン globe(球体)のバレー」がテーマのイルミネーションになっており、きらびやかな電飾とともにマカロンカラーの球体が空に浮かび回廊を彩ります。
 モザイクステージのピンクのglobeツリーもユニークです。

開催期間：2015年11月11日～2016年2月14日
 点灯時間：17:00～24:00 (12月は16:30～)



ハイアットリージェンシー東京

ホテルの外周一面に6万個のLEDがちりばめられ、まるで宝石のように輝いてとてもきれいです。グラデーションにライトアップされたビルが中央にある大きなツリーの存在感を引き立たせています。

開催期間：2015年11月7日～12月25日
 ※ホテル外周のイルミネーションは2016年2月29日まで
 点灯時間：アトリウムロビー：終日
 ホテル外周エリア：日没～2:00 (深夜)




新宿サザンテラス

カラフルで華やかなマカロンカラーのイルミネーションに彩られたサザンテラス広場はとても幻想的な空間。広場にあるオブジェ内に設置されたセンサーに手をかざすことで6種の光と音の演出が楽しめるマカロンツリーは、訪れた際には是非立ち寄ってみると楽しいかもしれません。

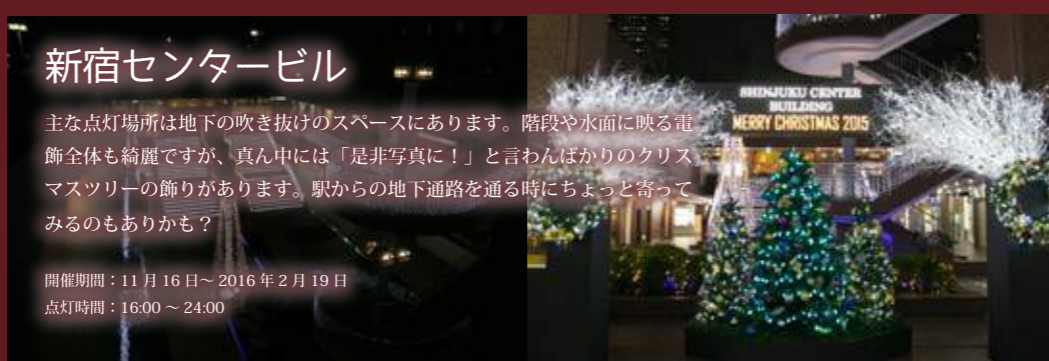
開催期間：11月11日～12月25日
 点灯時間：17:00～24:00 (12月は16:30～24:00)



新宿センタービル

主な点灯場所は地下の吹き抜けのスペースにあります。階段や水面に映る電飾全体も綺麗ですが、真ん中には「是非写真に！」と言わんばかりのクリスマスツリーの飾りがあります。駅からの地下通路を通る時にちょっと寄ってみるのもありかも？

開催期間：11月16日～2016年2月19日
 点灯時間：16:00～24:00



講師 Interview!

武澤 啓之 講師



武澤先生がプロデュースした作品の一部

Profile

アーティスト発掘や育成プロデュースを手がける。またレコード会社設立やレーベル運営等を多く手がける一方、異業種企業のレコード会社設立をコンサルトする。現在アニメ音楽のプロデュースやCDブック等の出版プロデュース、TV番組プロデュースを幅広く手がける。

普段どんなお仕事をされていますか？

肩書きは音楽プロデューサーです。サウンドプロデューサーじゃなくて、音楽をつかってビジネスすることを仕事にしています。音楽の仕事といってもたくさん仕事がありますよね。ミュージシャンだったり作曲家だったりレコード会社だったり。みなさんの日常の中にも音楽が溢れています。その中でもぼくは「音」にこだわってビジネスをする。音楽をつかって世の中に新しい価値をつくりたり、情報を発信すること。一言では言い表せないくらい、音にまつわる幅広い仕事をしています。

最初はアナログレコードのプレス営業企画をしていて、個人の制作が増えたことから当時ロンドンで生まれた《インディーズ》という概念を日本に持ち込みました。日本でもインディーズブームが到来して、新宿や渋谷界限で大いに遊んでいました。《三宅裕司のいかすバンド天国》という番組が始まって、空前のバンドブームだったんですね。番組の出演バンドのプロデュースやレコード会社、レーベルの立ち上げなど、音楽制作現場の最前線にもいました。

宝塚大学ではどんな授業をされていますか？

音楽を希望する学生に向けての授業ではありませんので、楽譜の読み方や音楽の歴史を一方的に話すことはありません。宝塚大学の学生はゲームやアニメをつくったり、なにかを制作する職業を目指す学生たちです。ですので、制作者として必要な音の考え方やアイデアの出し方、音をグラフィック的に理解する授業を心がけています。制作課題を毎回出しますが、音楽ソフトをつかって直接音を組み込んで、

今まで音楽を本格的に学んでいない人でもできる音楽を目指しています。音大などでいわゆる《音楽》を学んできた先生方すると、ちょっと首をかしげるかもしれない（笑）。でも、音の作り方や考え方を教えてあげること、カッコいい音楽をつくる学生もいるんですよ。音楽は直感でやるものだから、アカデミックになる必要もないと思うんです。ふくよかな音、痩せた音、なめらかな音。音の形容詞を考えるだけでも楽しくなります。

《サウンドスケープ》という言葉があるんですが、音の風景という意味です。最初の授業でもやっただんですが、1、2分静かに音に耳を傾ける。外のバイクの音、廊下を歩く足音、心臓の鼓動。意識が音に向くと、見えてくる風景がありますよね。



音楽ソフトを使っでの授業風景

授業で心がけていることはありますか？

今までで聞いた音の中で、一番大きな音ってありますか？とか、今朝初めて聞いた音ってなに？とか。なによりまず《音》

に興味関心を持ってもらいたいです。制作サイドにまわると、どんな音を使って人にメッセージを送るかを考えるようになります。これからゲームやアニメをつくる人にとって、音は必須だと思っただけです。有名な話ですけど、映像に使われる、雨音と天ぷらを揚げる音は同じだったり、火山のマグマの音は、小豆を煮ている音を使っていたり。同じ音でもシーンや見ているものが違うと、人間はそれぞれの認識をします。音をイメージすること、イメージから音を考えること。リアルな音と、リアリティを感じる音の違い。普段ぼくたちがメディアを通して聞いている音楽に疑問を持つと、音にもっと敏感になると思います。

学生に期待することはありますか？

音楽家でなくても、音楽はつくれる時代になりました。音楽ソフトもたくさん出ましたし、表現の発表の場としてYouTubeやネットメディアもたくさんある。楽器が弾けないDJもいっぱいいる。音楽を楽しむこと、つくることが身近になりまし。これはいい時代になったと思います。表現できる環境が整った今だからこそ、ものづくりする人は《音》に敏感にならないといけない。音を持つイメージの力や、記憶からのフラッシュバック。人間は想像以上に音で記憶しているものも多いですから、時代によって音の変化もあります。これからの未来に向けて、音をつかって優雅に楽しく、仕事に組み込んでもらえたらな、と思います。

リリースマンガとは
複数の人が順番に描いていく漫画のこと。
この漫画では、月毎にプロットを編集者、作画を学生が担当しています。

リリースマンガ 私達の大学生活はまだ始まったばかり

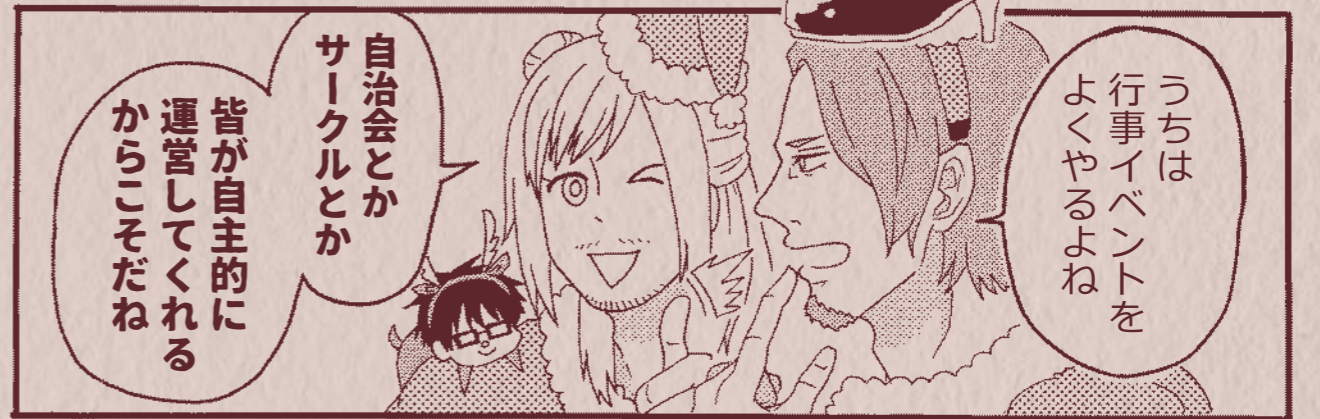
もうすぐ
年越しだ!!



クリスマス
ライブ
楽しんでる
かい!?

任-任!

いつも
思うけど



うちは
行事イベントを
よくやるよね

自治会とか
サークルとか

皆が自主的に
運営してくれる
からこそだね



ニュースレターの
編集部とか

クリフエスやら
ゲームショウの
イベント参加

行事ごとで見ると
毎月皆何かしらで
動いてるって感じ
がするかも

あらすじ

コミティアに参加した千穂、緒方と会場を回っているイラストサークルで参加していた佐藤と遭遇。様々な作品に触れ、水咲がデザインフェスタの出展準備の手伝いに行ったことも相まって、創作意欲をみせる千穂は、緒方にもっと頑張ると宣言するのだった。

※この漫画は、宝塚大学の学生生活に基づいたフィクションであり、実在する人物などはほぼ関係ありません。

人物紹介



新城千絵

マンガ領域の1年生。
好奇心旺盛で何にでもチャレンジする。
大学1年生にして忙しく頑張ったで賞。



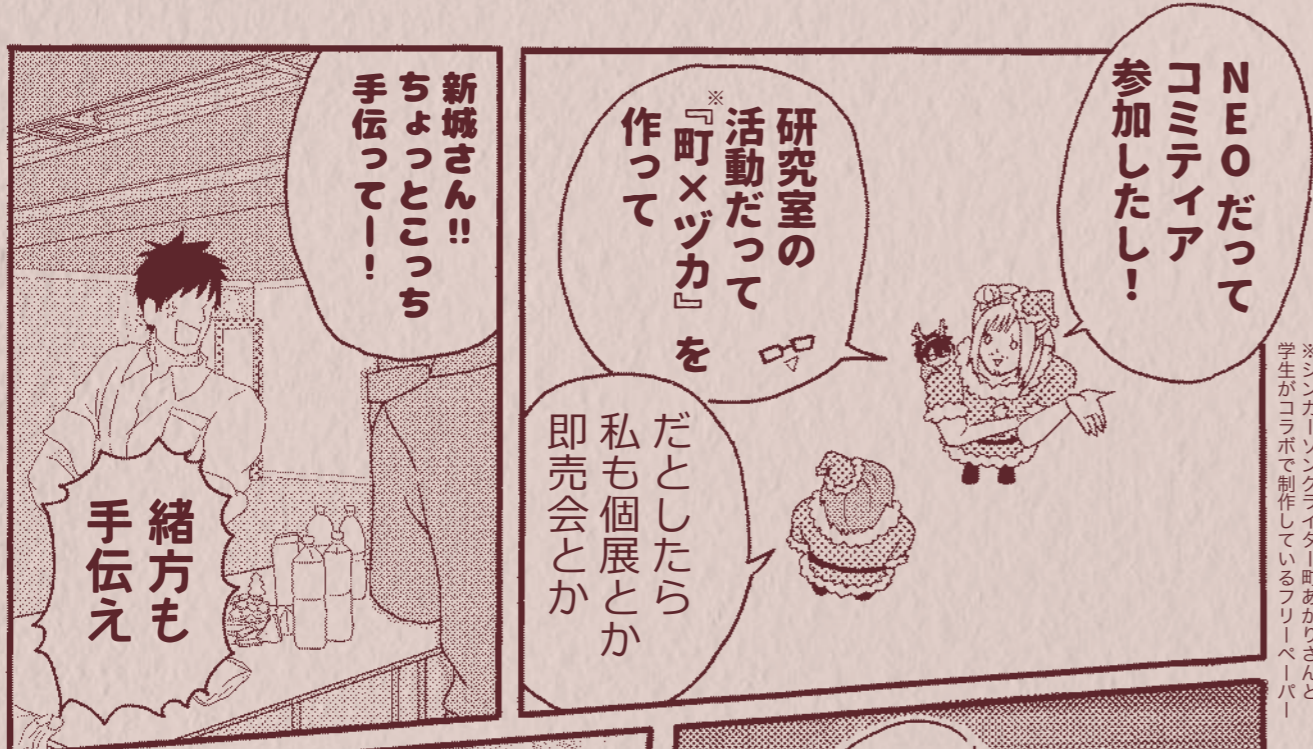
藤井水咲

イラストレーション領域の1年生。
コミュニケーション力の高い、クール系女子。
今年は個人での活動にも力を入れたで賞。



緒方遊太

ゲーム領域の1年生。
プログラマー志望のゲーマー男子。
今年は学内での運営に貢献したで賞。



新城さん!!
ちよつとこっち
手伝ってー!!

緒方も
手伝え

NEOだって
コミティア
参加したし!

研究室の
活動だって
『町×ツカ』を
作って

だとしたら
私も個展とか
即売会とか

※シンガソングライター町あかりさんと
学生がコラボで制作しているフリーペーパー



ま
一年も大詰め
だけど

頑張ろうねって
いうことで



授業も一月で
終わるし
一年もあと少し

といても冬休み
終わったらすぐ
会っただけだね



とりあえず
皆々様
良いお年を!!

良いお年を!!

おめでとう! 千穂ちゃん!!

能楽×自由学園明日館×獅子の芸能×D-K
デジタル掛け軸に渡邊
准教授がディレクターと
して参加



フランク・ロイド・ライト設計の国指定重要文化財である池袋の自由学園明日館で開催された「野村万蔵プロデュース 伝統芸能 in 自由学園明日館 Vol.1 獅子の祝彩」(11月2日月曜日)。このイベントで実施された「D-K デジタル掛け軸」のディレクターとして本学コンテンツデザイン領域の渡邊准教授が参加しました。またアシスタントとして、ゲーム領域2年の加藤晃さん(千葉県東葉高校出身)、コンテンツデザイン領域1年の菊川勝捷さん(都立穂ヶ丘高校出身)が参加。「デジタル掛け軸」に染められた自由学園明日館を借景に、能「石橋」ほか多彩な獅子が舞い踊り、伝統と現代デジタルアートが交錯する幻想的な舞台となりました。

環境芸術学会にて田島
専任講師らが研究発表



京都嵯峨芸術大学で行われた環境芸術学会第16回大会にて、田島悠史専任講師が「小規模地域アートイベントと観光・地域活性との接合(アートプロジェクトとアウトカム部会報告)」の口頭発表と「地域における参加型プロジェクト実践(新宿区中井の事例を通して)」のパネル発表、渡邊哲意准教授が造形芸術学部、植松陽一専任講師と連名で「のせてん秋のこども自然体験学習ワークショップの実践」の口頭発表を行いました。田島専任講師のパネル発表では本学の地域連携としてこの夏に行った新宿区中井での参加型プロジェクト「development」の成果についての発表が行われ、参加者からも高い評価を受けていました。

渡邊准教授と本学の学
生が舞岡高校での出張
授業を実施



漫画研究部員10名を対象に、渡邊准教授とマンガ領域の4年生がオリジナル缶バッジ制作のワークショップを行いました。生徒のみなさんには自分が欲しいバッジと他人が欲しいバッジの2つを最初にデザインしてもらいました。自分が欲しいデザインはすぐに浮かぶのですが、他人が欲しいデザインには最初苦労したようです。クリスマスという季節に向けたものや互いに友達のものを作りました。友達が欲しいバッジを作ることができました。

イラストレーション領域
の深大寺遠足



毎年イラストレーション領域の4年生が楽しみにしている「深大寺遠足」が、今年も11月6日(金)に賑やかに実施されました。当日はイラストレーション領域の教員3名と学生6名が参加し、調布市の深大寺を訪れました。一行は窯での絵付け体験と神代植物公園バラ園を見学。バラはちょうど見頃を迎えており、とても美しく学生たちは写真に収めていました。また、絵付け体験では思い思いに筆を動かして貴重な体験を楽しみました。教員と学生と一緒に出かける遠足行事は毎年恒例となっており、学生たちの卒業前の思い出になりました。

HOT TOPICS

海外マンガフェスタ2015に出展



11月15日、マンガの国際交流イベント「海外マンガフェスタ2015」が東京ビッグサイトで開催されました。出展した宝塚大学のブースでは、学生・卒業生の作品展示や、マンガ領域の学生作品集『NEO』の無料配布に加え、卒業生、講師陣の作品集『宝姿画伝』などを販売しました。また海外からの参加サークル数は過去最高の58サークルに上り、特にアメコミ系の豪華な作家が目立ちました。トークセッションやライブドローイングも開催され、会場は集まったマンガファンでただならぬ熱気に包まれていました。参加した学生たちは、普段目にする機会のない世界各国のマンガを読み、世界のマンガファンと交流することで大いに刺激を受けていました。

卒業生、ナンキダイさんの連載漫画『まじめ系クズの日常』単行本が11月17日に講談社から発売!

本学マンガ領域卒業生のナンキダイ(ペンネーム)さんの漫画『まじめ系クズの日常』単行本が11月17日に講談社から発売されます。同作品は講談社の隔月刊漫画雑誌『少年マガジンR』で現在も連載中です。

あらすじ

一見まじめに見えるが、まじめではない。かといって、ただのクズでもない。クズのハイブリッド進化系「まじめ系クズ」とはいったい!? そんな新しい生き方で、スリルあふれる学校生活をクリアしていく、真島九澄の生き様を見よ!



卒業生、幸奈ふなさんの連載漫画『新神さまの異能世界』が月刊コミックアライブで連載開始



本学マンガ領域卒業生の幸奈ふな(ペンネーム)さんの漫画『新神さまの異能世界(あらがみさまのギフトワールド)』がKADOKAWA・メディアファクトリー発行の月刊コミックアライブで連載開始します。

あらすじ

大好きなお兄ちゃんのため——。この世界を変えてあげる♪【ギフト】を持つ者の能力バトル連載開始!

デッサン講習会、進学相談会

12/5,2016/1/30

午前中にデッサン講習会、午後に進学相談会を実施

入試情報

A0 第4期、自己推薦 第2期

出願期間:11/23~12/7

選考日:12/13

一般 第1期

出願期間:2016/1/12~1/29

選考日:2016/2/7

第6回 宝塚大学

東京メディアコンテンツ学部 卒業制作展

2016/2/20~2/21

開催時間:10:00~17:00

レセプションパーティ:2/20 18:00頃開場予定



編集後記

寒さが増して、年末が近づいてきた今日この頃、そろそろ年賀状のイラストを描かなければと思うのが美大生の特徴を感じる時期ですね。

それはさておき、今回の新宿企画は新宿駅周辺のイルミネーションを紹介しています！

取材中、普段でもビルの光が明るく、さらにお洒落な街並みになっていて素敵でした。今回は新宿駅南口〜西新宿中心ですが、紹介しきれなかった東口や新宿3丁目方面にもまだまだイルミネーションスポットがあります。

今の季節ならではの景色を楽しんでみてくださいね！

NEWS LETTER 編集部

- | | | | |
|------------------|--|--------------------|-------------------------|
| Editor | 金澤英樹 (本学職員)
ミネシゴ (フリーライター) | Assistant Designer | 松原麻友 (2年)
石原亜矢子 (2年) |
| Assistant Editor | 爲谷愛美 (本学職員) | 表紙イラスト | 雨日 (1年) |
| Art Director | 渡邊哲意 (本学准教授)
芦谷耕平 (本学講師)
小野寺真央 (大学院1年) | リレーマンガ 作画 | 多嘉山 (2年) |
| Designer | 有馬ゆずか (4年)
河野真美 (4年)
高田佳奈 (4年)
中田亜花音 (4年) | | |



→→ 連載 →→
入試課金澤のおすすめ!

新宿スイーツ食べ歩き

入試課の金澤が大好物であるスイーツをピックアップし、編集委員の小野寺と松原が皆様にお届け!

☆感想(♡)☆
ちょっとした自分へのご褒美からギフトまで、様々な場面にぴったりです!

甘みとほのかな塩味が人気のキャラメルプールサレト、フレッシュな苺とクリームシャンティがトッピングされたシャンティフレーズの2点!



レクレールドゥ・ジェニ 新宿店
東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目24番2号
新宿高島屋 地下1階洋菓子

新宿ラーメン巡り

これは院生の小野寺が自身の大好物であるラーメンを求め新宿を巡り、独断と偏見で選んだラーメンを食べては描くという企画である。



福岡久留米から来た本場とらふラーメンの人気店
今回はその新宿限定メニューの紹介です!

龍の家 新宿小滝橋通り店
東京都新宿区西新宿7-4-5
03-6304-0899
11:00~24:00



小野寺真央
1992年12月27日生まれ。
宮城県気仙沼市出身。東京都北区在住。
2015年 宝塚大学 東京メディア・コンテンツ学部
メディア・コンテンツ学科 卒業
現在、メディア・造形研究科 修士課程1年。
好きな食べ物、ラーメン。

龍の家 新宿小滝橋通り店
店舗限定メニュー つけ麺「もつ」(780円税込み)

こつ汁の食感からいかに、味が濃厚で70℃前後の温度を保つことが、つけ麺の醍醐味。今回は、その濃厚な味を味わうため、つけ麺の温度を70℃前後に保つよう、お湯を足して食べてください!